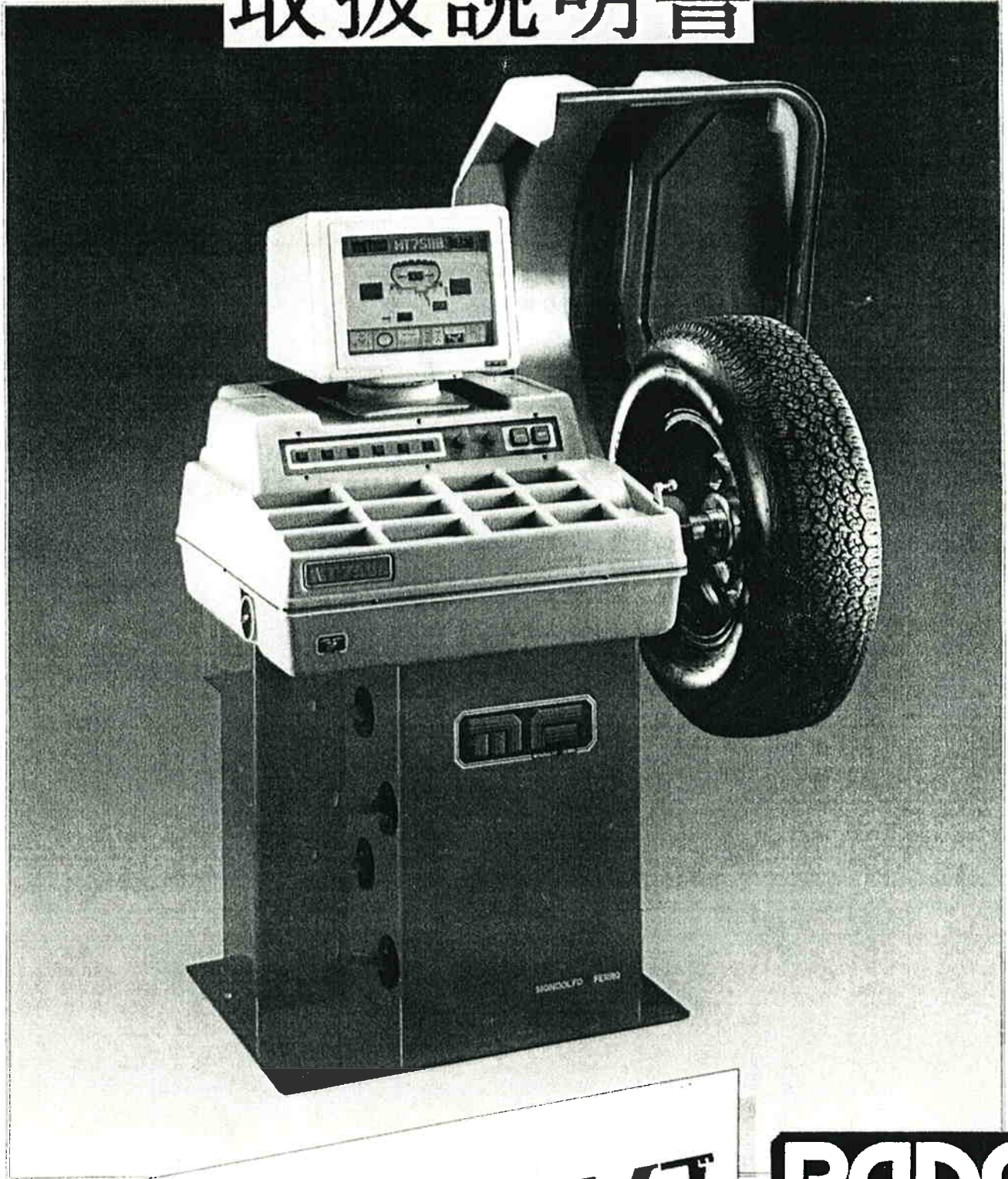




MT7500

取扱説明書



株式会社 **パンクタイヤサプライズ**

PANG



— 目次 —

1章	操作、技術仕様
2章	注意事項
3章	設置
4章	付属品
5章	外觀図
6章	操作
7章	自動データ入力
8章	手動データ入力
9章	グラム、オンスの切り替え
10章	インチ、ミリの切り替え
11章	オペテイマイジング
12章	表示
13章	スタチック、ダイナミックの切り替え
14章	機能プログラム切り替え
15章	バランス測定
16章	サービス機能
17章	キャリブレーション
18章	言語切り替え
19章	チェックプログラム
20章	センサー、ポテンシオメーターでのリムデータ読み取りの除外
21章	回転数の管理 モーター速度
22章	ピックアップシグナルコントロール
23章	エンコーダーディスクコントロール
24章	キーボードコントロール
25章	デイスタンスポテンシオメーターの調整
26章	故障発見方法
27章	パーツ
28章	パーツコード (構成部品表)
29章	3相電源結線図
30章	単相 — —

第1章 操作上特徴

コンピュータ制御方式
カラー表示
データ入力は、スピン前、又は後でもOK
自動セッティング
4つのオプチマイゼーションプログラム
5つのアルミプログラム (ALU1-2-3-4-5)
CTSリム用特殊プログラム
バイク用特殊プログラム
データ入力はミリ又はインチで可能
表示はグラム又はオンスで可能
1グラム又は5グラム表示切り替え
スタティック又はダイナミックアンバランスの表示
自動リムデイスタンス入力

技術特徴

精度： 1グラム
測定速度： 6-8秒
最大ホイール重量： 65KG
リム径： 最大-23.5"
 最小- 8"
リム幅： 最小- 2"
 最大-17.5"
機械重量： 179KG
モーター： 0.55KW
 220V/3PH 50/60HZ

第2章 使用上の注意

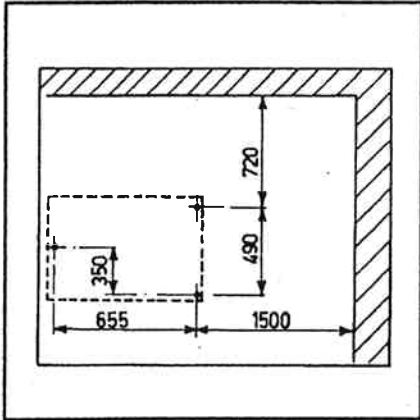


- 1) 機械の調整をする場合は、電源を切ること。
- 2) ホイールガードのマイクロスイッチをいじらないこと
- 3) フランジは何時も清潔にすること。(但し、給油しないこと)
取り外しの場合、傷をつけないよう気を付けること
- 4) 機械本体に圧縮空気や水を使わないこと。
- 5) 機械の設置、移動にはフォークリフト等を使い、
シャフトやモニター部に力を加えないこと。

上記注意事項に反しての機械の故障には責任を持ちません。

第3章

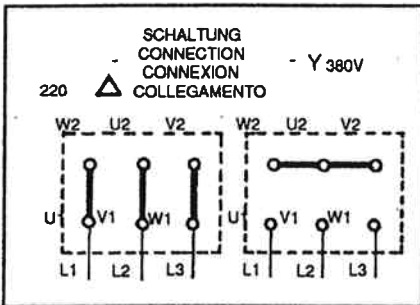
設置基準



1

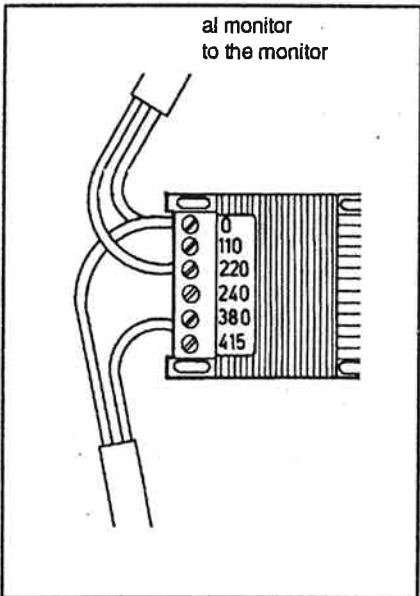
- 1) 機械は堅い床に設置のこと。
- 2) アンカーボルトの使用は絶対必要ではないが、望ましい。
- 3) 電源の接続：
機械を電源に接続する前に、機械の後ろの銘板の電圧を確認してください。（380V3相の場合があります。）

機械を試運転する前に、下記の点検をして下さい。




2

- A) キーボードのビスを外す。
- B) キーボードを外し、コネクターを全て抜きます。
- C) トランスターミナルに正しい電圧が接続されているかを確認してください。必要に応じて接続端子を入れ替える。



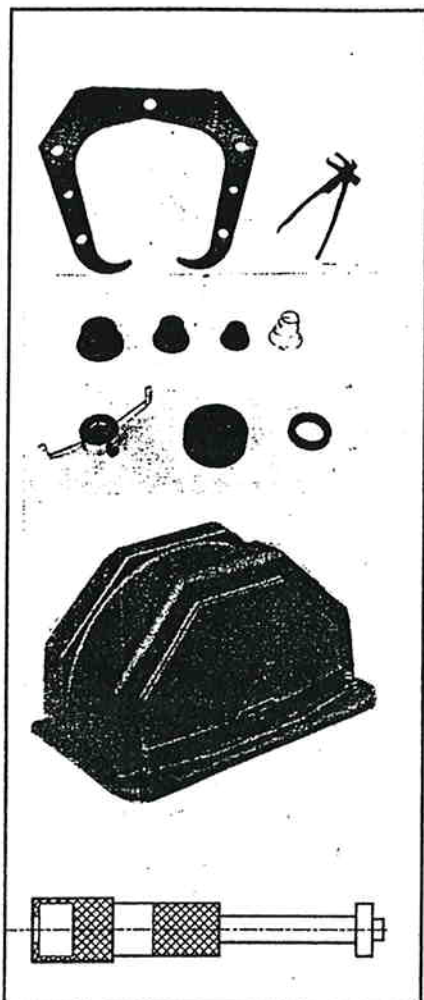
3



注意： モニターサプライケーブルは必ず”0”と”220”とに接続されているはずですが。

第4章

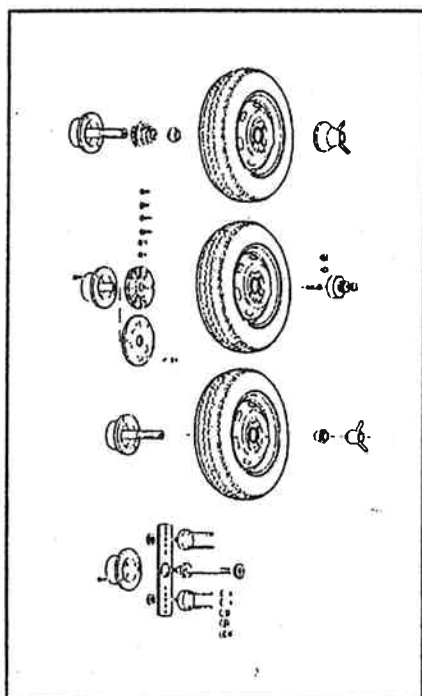
付属品： ウェイトプライヤー
コーン（3ヶ）、スプリング、ワッシャー
ウイングナット、フランジ



4

M/C用センサーエクステンション

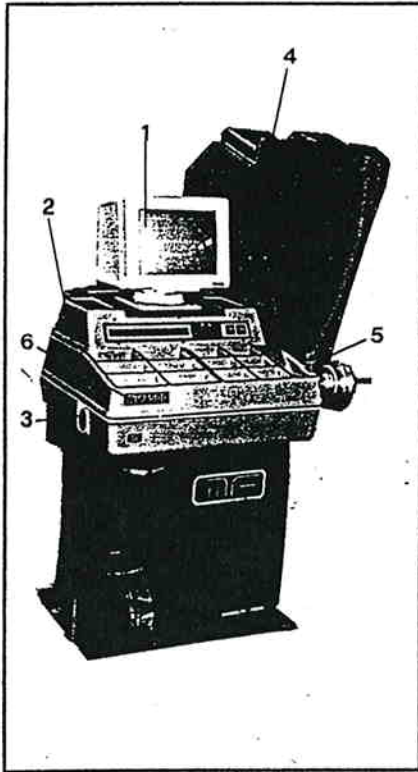
オプション M/Cアダプター
マイクロスイッチ付きホイールガード
その他特殊アダプター



5

- 重要： 1) センターホールでセンターリングしているホイールはコーンアダプターを使ってください。
- 2) ボルトでセンターリングしている場合は特殊フランジプレートアダプターを使って下さい。

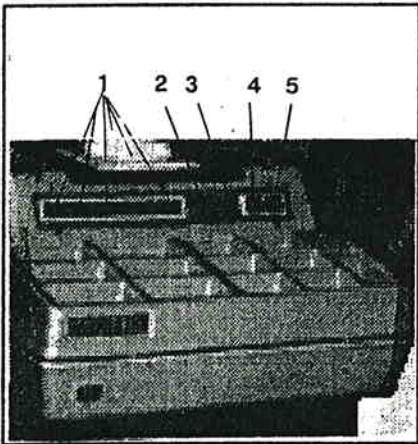
第5章 外観図名称：



- 1) モニター
- 2) ウェイトトレイ
- 3) メインスイッチ
- 4) ホイールガード
- 5) デイスタンスセンサー
- 6) MT-7500ステッカー

6

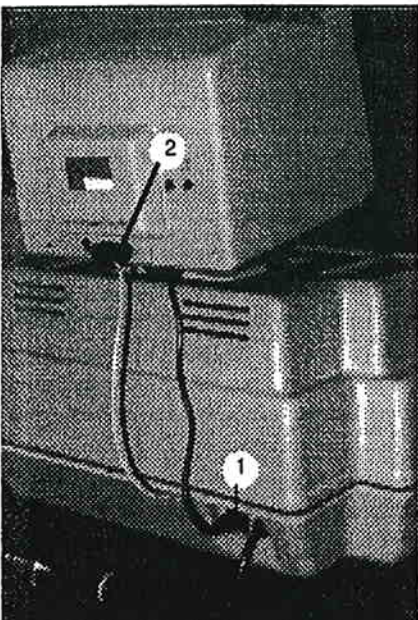
図7の名称：



- 1) キーボード
- 2) タイヤ幅用ポテンシヨメーター
- 3) タイヤ径用ポテンシヨメーター
- 4) スタート押しボタン
- 5) ストップ押しボタン

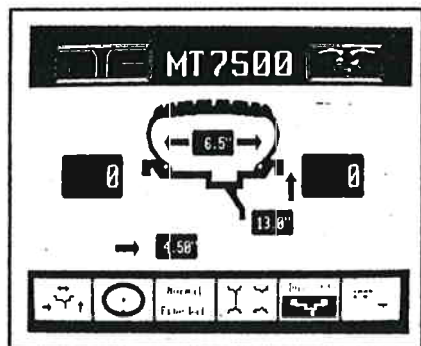
7

図8の名称：



- 1) モニター電源ソケット
- 2) モニターシグナルソケット

8

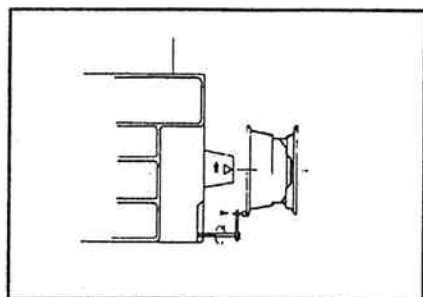


9

- 1) スイッチをONにする。
- 2) 機械は、"測定画面"を表示します。
画面は、3つに分割されています。
一番上は、モンドルフォのマークと機械のロゴ。
真ん中は、幾何学的データ、アンバランスの量及び位置が表示されたリムの断面図。
最後は、6つの箱に仕切られて、下記に示す機能ボタンです。

3) 各機能ボタンを試してみましょう。

- P1- 手動リムデータ入力キー
- P2- オプティマイゼーションプログラム
- P3- 画面の解像度選定
- P4- スタティックとダイナミックの選定
- P5- 測定モード選定
STD, ALU1-5, CTS, M/C (ダイナミック)
- P6- ミリ/インチの選定



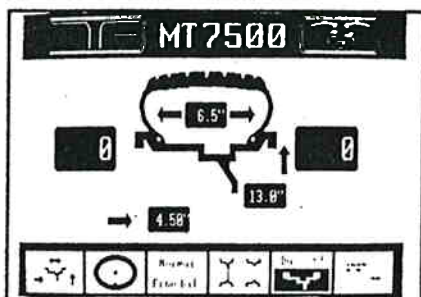
10

第7章 リムデータの入力

データの入力はスピン前でも、後でも可能です。

ディスタンスを入力するためには下記の様にします

- 1) センサーを掴み、リムの端にセンサーを充て、1秒程待ちます。
- 2) ビープ音が発せられたら、センサーを元の位置に戻します。



11

リム径、幅を入力するには、パネルのポテンシオメーターを回します。

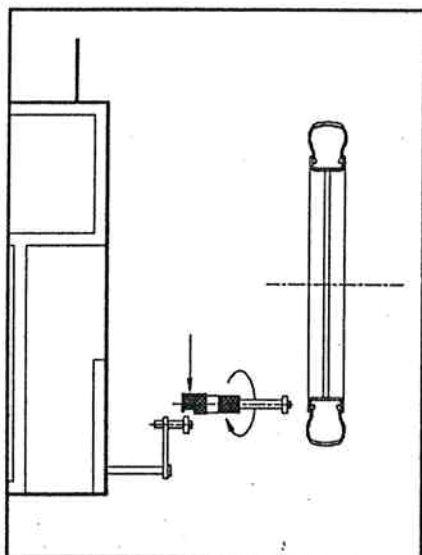
パネルに表示された3つの数値は次の入力迄保持されます。

M/Cリムデータ入力

バイクのリムディスタンスを記録するには、図12の様にセンサーに延長棒を取り付ける必要が有ります。

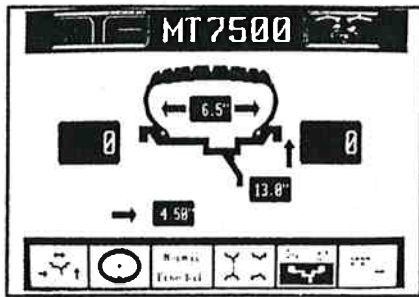
ディスタンスを入力する前に、バイクモードに切り替えて下さい。自動的に、6"の延長棒が加算されます。

径、幅は、ポテンシオメーターを使います。

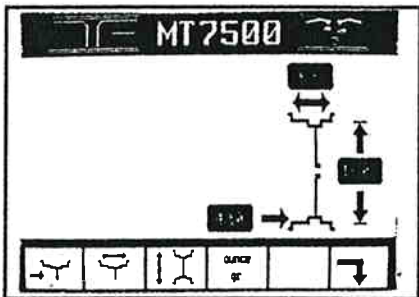


12

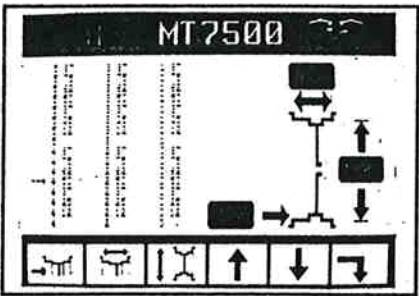
第8章 手動データ入力



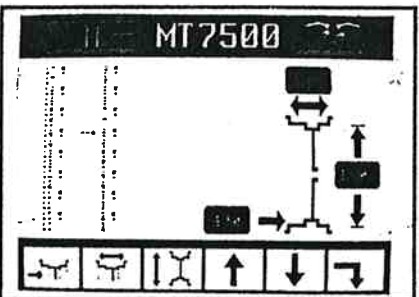
13



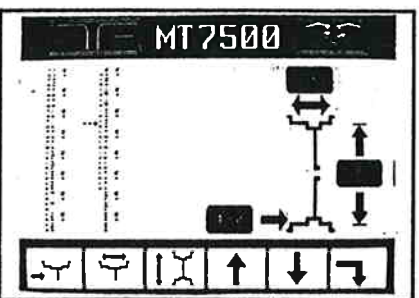
14 P1 P2 P3 P4 P5 P6



15



16



17

データの入力はスピンの前でも、後でも手動で可能です。

センサやポテンシオメータ入力方式が意識的に解除された時や故障の時に使います。

- 1) "測定画面"に入り、P-1を押します。
- 2) 6つのキーは下記の機能を持っています。

P-1 : デイスタンス
 P-2 : 幅
 P-3 : 径
 P-4 : オンス/グラム切り替え
 P-5 : 機能なし
 P-6 : "測定画面"への復帰

- 3) P-1, P-2, P-3を押して取り入れるリムデータを選びます。

データ表が表示されます。

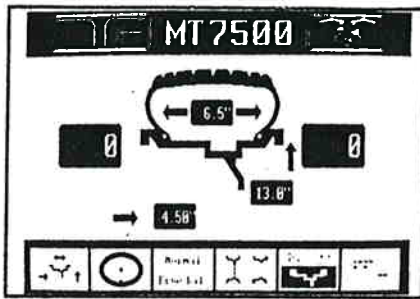
- 4) P-4またはP-5を押して、記憶されている希望する数値にインデックスを持って来ます。

- 5) 他の数値を表示したい場合は、2)と3)を繰り返して下さい。

- 6) この表示を消すには、P-6を押します。

この表示を消すには、ホイールガードを下げ、スタートボタンを押すと、機械は"測定画面"に戻りスピンを行います。

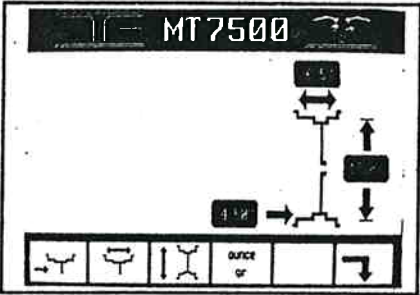
第9章 グラム/オンスの切り替え



18

下記の手順で行います。

- 1) "測定画面"に入ります。
- 2) P-1を押すと、図19の画面がでます。
- 3) 画面の白い部分に、測定の単位が出ます。変換には、P-4を押します。
- 4) 切り替えが行われたら、P-6を押すと"測定画面"に戻ります。

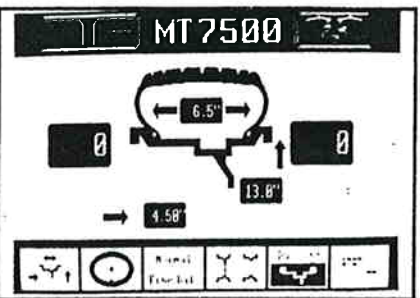


19

第10章 インチ/ミリメートルの切り替え

下記の手順で行います。

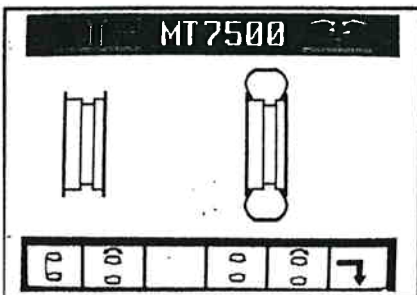
- 1) "測定画面"に入ります。
- 2) P-6を押します。
- 3) 切り替えられた測定単位は3つのパネルに見えます。
- 4) 毎回、ミリからインチへ変える必要があります、その逆は、ステップ1)と2)に従って下さい。



20

第11章 オプティマイゼーション

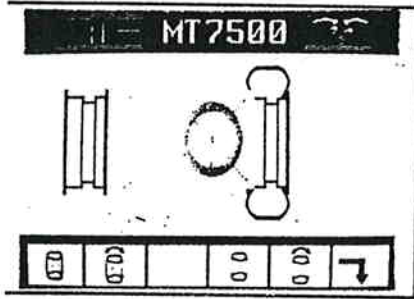
オプティマイゼーションプログラムはリムへのウエイトを少なくする為に使われます。アンバランス量が多い場合にこのプログラムを使って下さい。



21

- 1) "測定画面"に入ります。
- 2) シャフトにホイールをロックします。
- 3) ガードを下げて (スタートを押す)、スピンをさせます。
- 4) P-2を押すと、"OPTIMIZATION DISPLAY" が出ます。キーで色々なオプティマイゼーションプログラムが切り替えられます。

- P-1: リムから初めるオプティマイゼーションで、タイヤを裏返ししない。
- P-2: リムから初めるオプティマイゼーションで、タイヤを裏返す。
- P-3: このキーは機能は有りません。
- P-4: リムにタイヤを付けた状態で始めるオプティマイゼーションで、タイヤを裏返ししない。
- P-5: リムにタイヤを付けた状態で始めるオプティマイゼーションで、タイヤを裏返す。
- P-6: プログラムを解除し、"測定画面"に戻します。



22

リムから初めるオペティマイゼイションで、タイヤを裏返ししない方法。及び裏返しする方法

A-1

裏返ししないオペティマイゼイションは、P-1を押し、裏返しするオペティマイゼイションはP-2を押します。

A-2

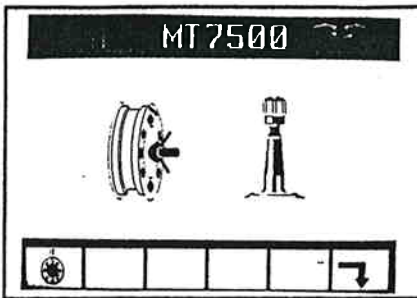
先の回転を基に、機械はオペティマイゼイションが必要かどうかを計算します。

もし裏返しが望ましい場合は、機械はステップA-3に進みます。もしオペティマイゼイションを勧めない場合は、2つの選択方法があります。

- a) P-6を押して、オペティマイゼイションを中止する。
- b) P-6以外の、キーを押して、無理やり機械をオペティマイゼイションにもって行き、A-3に進む。

A-3

この段階で、図23が出てきます。

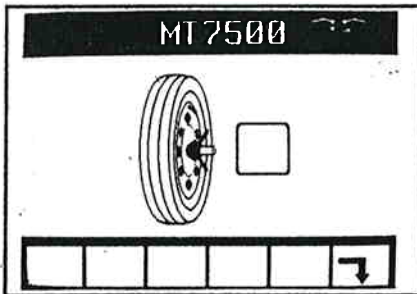


23

A-4

P1を押す (図24が表れます)

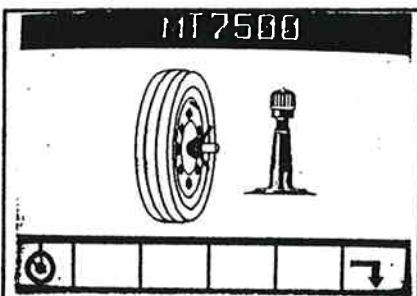
リムにタイヤを付け、シャフトにホイールを乗せ、ガードを下げ (スタートを押す) ます。



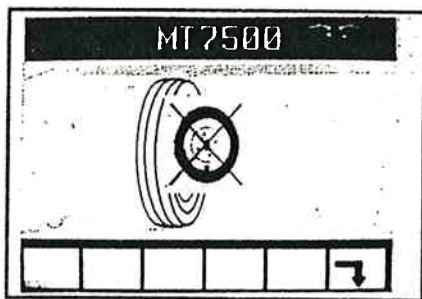
24

A-5

回転が終わったら、バルブを12時の位置に持って来ます。まっすぐな状態で保持し、P1を押します。図25を参照



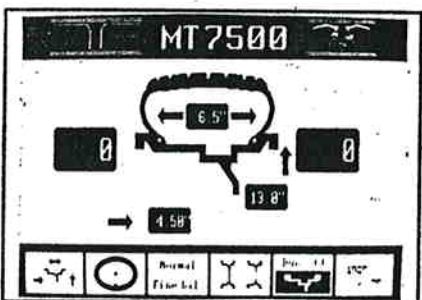
25



26

A-6

機械がオペテイマイゼーションの必要を決めたら、ホイールの外側に（裏返さないオペテイマイゼーション）または両サイドの1つに（裏返すオペテイマイゼーション）1組の矢印がでます。でなければ、図26が現れます。プログラムを解除するためにP-6を押し、“測定画面”に戻します。



27

A-7

両方の矢印が緑になるまで、手でホイールを回転させてチョークでタイヤに、矢印と同じ側の12時の位置に印を付けます。

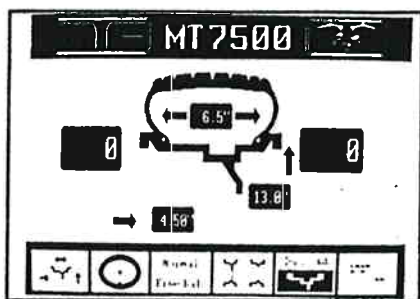
A-8

この段階で、タイヤを外しリムのマークとタイヤのマークを合わせます。

A-9

これで、オペテイマイゼーションは終わりです。P-6を押し、“測定画面”へ戻します。

組んだタイヤから始めるオペテイマイゼーション、タイヤを裏返ししない方法、及び裏返す方法



28

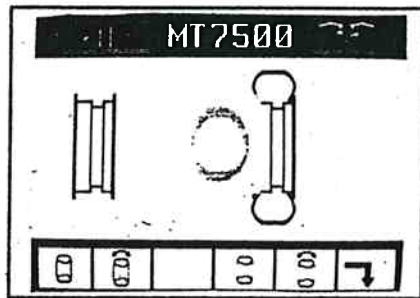
B-1

タイヤを裏返ししない方法はP4を押し、タイヤを裏返す方法はP5を押し。

B-2

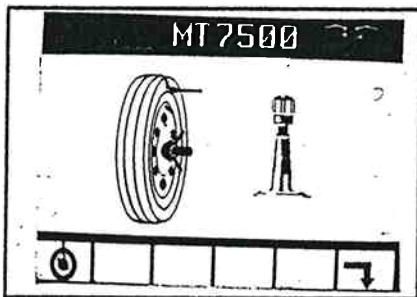
先の回転を基に、機械はオペテイマイゼーションが必要かどうかを計算します。

もし裏返しが望ましい場合は、機械はステップB-3に進みます。もしオペテイマイゼーションを勧めない場合は、2つの選択方法があります。



29

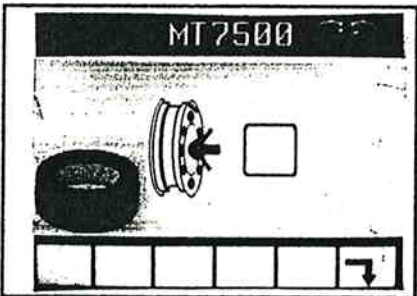
- a) P-6を押し、オペテイマイゼーションを中止する。
- b) P-6以外の、キーを押し、無理やり機械をオペテイマイゼーションにもって行き、B-3に進む。



30

B-3

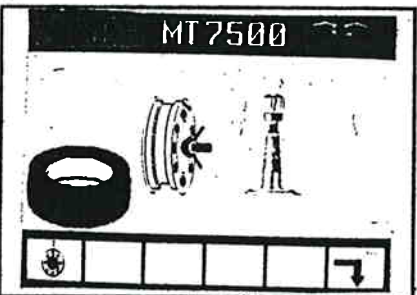
この段階で、図30が現れます。バルブを12時の位置に持ってきて、バルブに合わせて、タイヤにチョークで印を付けます。



31

B-4

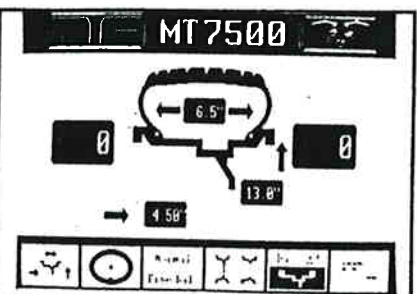
ホイールを垂直に保持して、P1を押す(図31が現れます)。リムからタイヤを外し、リムをシャフトに再度乗せ、ガードを下ろす(スタートを押す)。



32

B-5

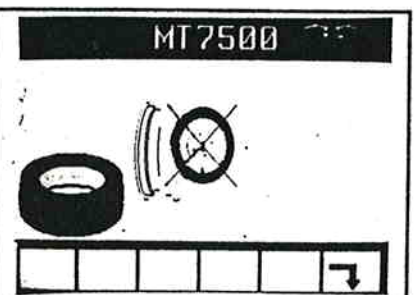
回転が終わったら、バルブを12時の位置に持って来ます。P1を押します。図32を参照



33

B-6

機械がオペテイマイゼーションの必要を決めたら、ホイールの外側に(裏返さないオペテイマイゼーション)または両サイドの1つに(裏返すオペテイマイゼーション)1組の矢印がでます。でなければ、図34が現れます。プログラムを解除するためにP-6を押し、"測定画面"に戻します。



34

B-7

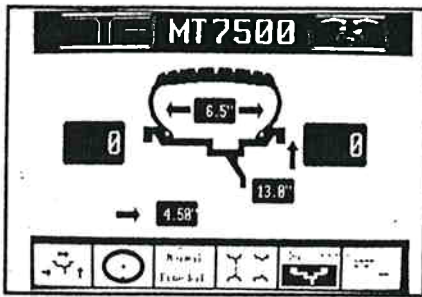
両方の矢印が緑になるまで、手でホイールを回転させてチョークでタイヤに、矢印と同じ側の12時の位置に印を付けます。

B-8

この段階で、マークを併せて、リムにタイヤ組付けます。

B-9

これで、オペテイマイゼーションは終わりです。P-6を押して、"測定画面"へ戻します。



35

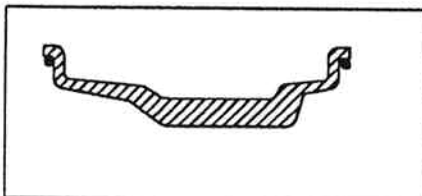
第12章

精度の切り替え

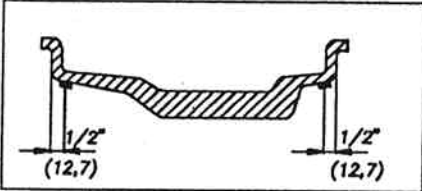
- 1) "測定画面"に入ります。
- 2) 白い部分に、精度が出ています。P3を押せば変えられます。スピン前、後でも可能です。

精度は下記の通りです。

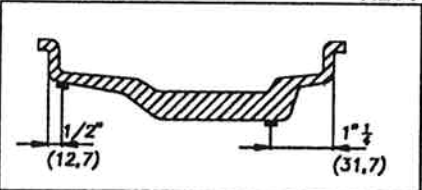
ファインバランス	—	1 g
通常	—	5 g



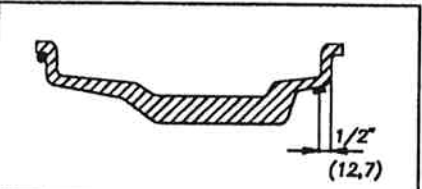
36A DIN STD



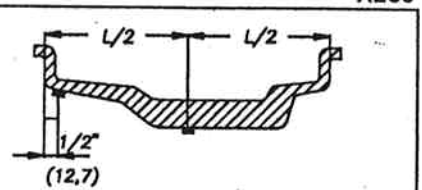
36B ALU1



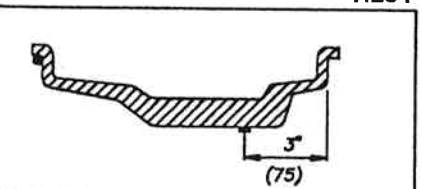
36C ALU2



36D ALU3



36E ALU4



36F ALU5

第13章

スタティック/ダイナミックの切り替え

- 1) "測定画面"に入ります。
- 2) 選択されたバランスのタイプは画面の白い部分にあります。P4を押せば、切り替えられます。

スピンの前でも後でも、押せます。

スイッチがONにされた時は、選択はダイナミックになっています。

第14章 機能プログラムの切り替え

- 1) "測定画面"に入ります。
- 2) プッシュボタンP5を押す。

下記順序で機能プログラムの切り替えは行います。

DIN STD, ALU1, ALU2, ALU3, ALU4, ALU5, CTS, MOTO

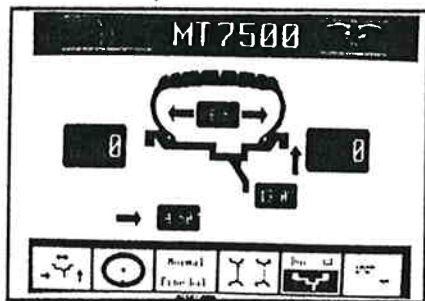
順序通りの切り替えを行わないで、DIN STD.に戻るには、P5を2秒程押します。機械は切り替えられた、プログラムに従って結果を再度計算しますので、スピンの前でも、後でも可能です。

ウエイトの取り付け位置は、図36Aから図36Fに詳しく示しています。

ALU2とALU4モードでは、ウエイト位置の調整が必要な場合もあります。

- クリップウエイト
- 貼り付けウエイト

機械がスイッチONになった時は、DIN. STD. (標準ダイナミック測定)



37

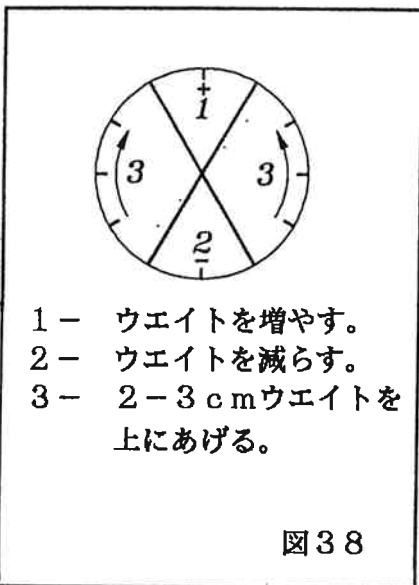


図38

第15章

ホイールのバランス

手順は下記の通り

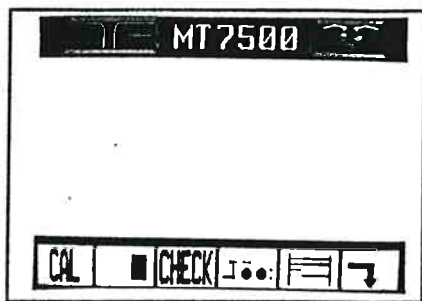
- 1) 機械のスイッチをONにすると”測定画面”が現れます。
- 2) コーン等を使いホイールをシャフトにロックします。
- 3) リムデータを入力する。
- 4) ホイールガードを下ろすと、(自動スタートでない場合はスタートボタンを押す) 機械がスタートし、スピンの終わるとアンバランス量がスクリーンに表示されます。
- 5) 機械が表示したウェイトをインナー、アウター側に打ち込みホイールのバランスを取ってください。ウェイトの位置を決める為に、矢印が出る迄ホイールを手で回してください。
- 6) ホイールガードを再度下ろし(自動スタートでない場合はスタートボタンを押す) 機械をスタートさせます。スピンの終わると、最終のアンバランス結果が示されます。
- 7) もし5-10gのアンバランスがまだ残っている場合は、それをなくす為に、図38を参照して下さい。2個のウェイトを絶対打たないで下さい。
- 8) スピンの後も、違ったリムデータ、違った測定単位を入力出来ます。機械は新たなデータに基き、再計算します。

第16章

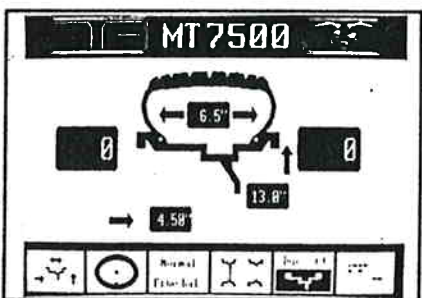
サービスモード

サービスモードに切り替えるには下記の手順で行って下さい。

パネルの6つのキーの内1つを押しながら、機械をonにします。
 図39の画面、”サービス画面”が現れます。
 各々のキーは、下記の機能を持っています。



39



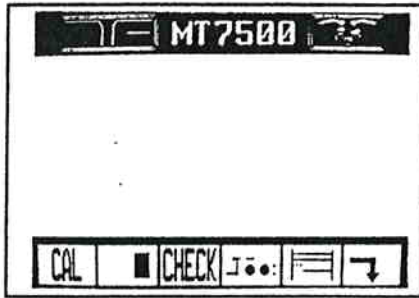
40

- P1 - キャリブレーションへのアクセス。(第17章)
- P2 - 言語の切り替え。(第18章)
- P3 - チェックモードへのアクセス。(第19章)
- P4 - センサー、ポテンシオメーターでのリムデータ読み取りを効かなくする。(第20章)
- P5 - スピン数の計算する機能。
- P6 - ”測定画面”への復帰。

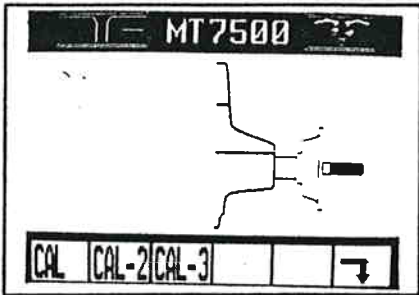
第17章 キャリブレーション

下記の場合は、キャリブレーションをする必要があります。

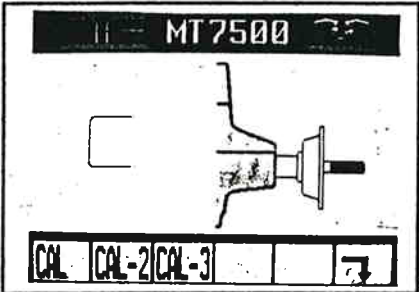
- A) 設置した時。
- B) 機械が正常に働かない時。



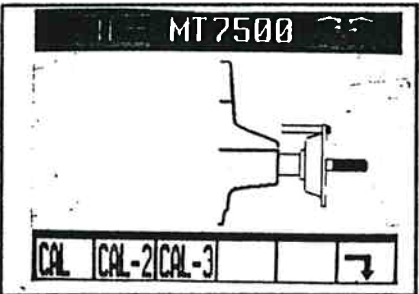
41



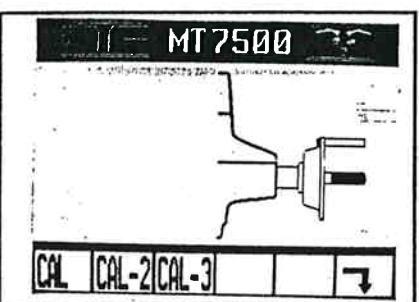
42



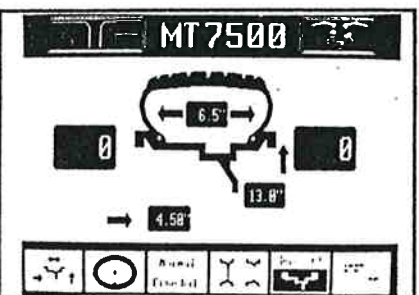
43



44



45



46

1) 機械のスイッチを切ります、そしてパネルの6つのキーの1つを押しながら、再度スイッチを入れますと、図41の"サービス画面"がスクリーンに現れます。

2) P1を押します。キーは下記の機能になります。

- P1 - CAL1を始める
- P2 - CAL2を始める。
- P3 - CAL3を始める。
- P4/P5 - 機能はありません。
- P6 - "サービス画面"への復帰。

3) P1を押します。(CAL1; 図43)
フランジからウエイトを取り、ホイールガードを下ろします。

4) スピンが終わったら、P2を押し(CAL2: 図44) キャリブレーション棒をフランジのキャリブレーション穴に機械側に取り付けます。ホイールガードを下ろします。

5) スピンが終わったら、P3を押し(CAL3: 図45) キャリブレーション棒をフランジのキャリブレーション穴に機械の反対側に取り付けます。ホイールガードを下ろします。

6) キャリブレーションが終わると、機械は"OKAY"を表示し"サービス画面"に戻ります。(図41)

7) P6を押し、"測定画面"へ戻します。

8) キャリブレーションロッドを外側に付けてスピントストをして結果を確認してください。
インナー 0 (+4G) アウター 132 (±4G)

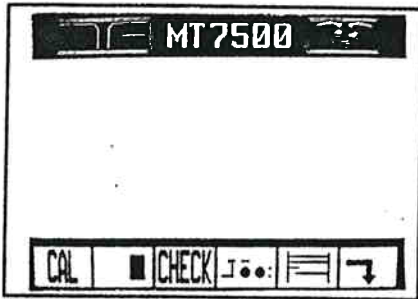
キャリブレーションをした機械は、ある期間の後これらの数値は少しの変化があるかも知れませんが、アウター側で、125-145G
インナー側で、0-10Gの範囲にある限りキャリブレーションをする必要はありません。

注意:

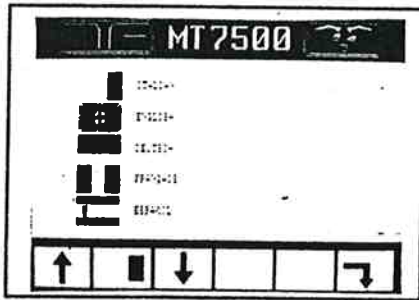
キャリブレーションウエイトの正確な値を明確にする為に、幅は6.5"、径は13"、デスタンスは4.50"を入力して下さい。

第18章

言語切り替え



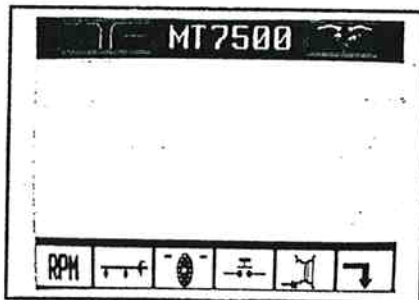
47



48

第19章

チェックモード



49

- 1) パネルの1つのキーを押しながら、スイッチを入れます。
- 2) "サービス画面"が現れます。(図47)
- 3) P3を押す。
- 4) チェックモードのページが出てきます。(図49)
キーは下記の機能を持ちます：

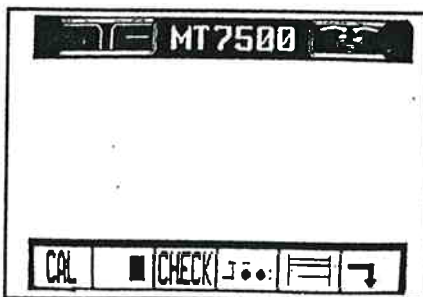
- P1 - モータースピードのチェック
- P2 - ピックアップ信号のレベルチェック
- P3 - エンコーダーディスクの読み取りチェック
- P4 - キーボード、及びスタート、ストップボタンのチェック
- P5 - デイスタンスポテンシオメーターのキャリブレーションチェック
- P6 - "サービス画面"への復帰。

第20章

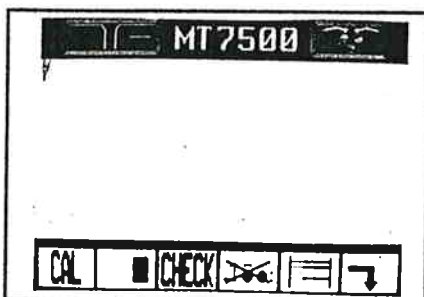
センサーやポテンシオメーターでのリムデータ読み取りの出来ない

もしデータ入力システムが壊れた場合、機械は止まり、警報音が連続で鳴ります。

下記の様にすれば、このシステムを締め出すことができます。(第8章、手動入力を参照)



50

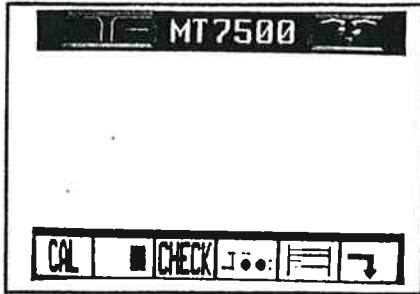


51

- 1) 機械を切り、キーの1つを押しながらスイッチを入れます。
- 2) スクリーンに、"サービス画面" (図50) が
出て来ます。
- 3) P4を押します。図51と同じ画像が出ます。
- 4) 自動読み取りは除外されます。P6を押すと、"測定画面"
に復帰します。

第21章

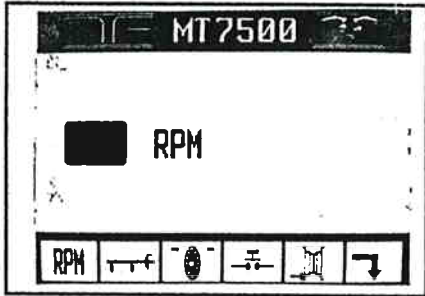
スピン回数のチェック



39

- 1) "サービス画面" を出すし。(第16章) 39図
- 2) P5を押す。
設置以来の機械が稼働したスピンのトータル回数がスクリーンに出ます。
キーの1つを押すと、この機能は解除されます。

モータースピードチェック

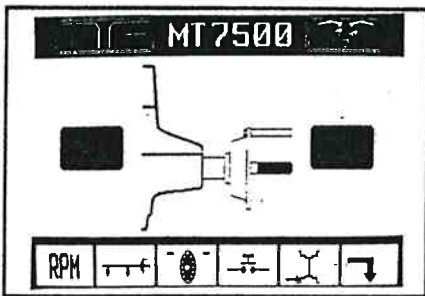


52

- 1) サービスモードのページを呼び出します。(第19章)
- 2) P1を押し、図53を表示させます。
- 3) スタートボタンを押すと、機械はスタートし3秒後にモーターの回転速度を表示して停止します。
1分間の回転速度は、350-390の間でなければなりません。
- 4) キーの1つを押すと、この機能は終わります。

第22章

ピックアップシグナルのチェック

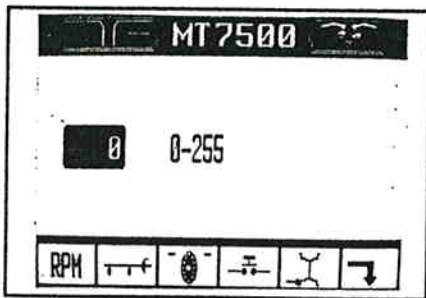


53

- 1) サービスモードのページを呼び出します。(第19章)
- 2) P2を押す。図54が表示されます。
- 3) フランジの外側に、キャリブレーションロッドを取り付けホイールガードを下ろします。機械はスタートしてスクリーンの左側に2個の内側のピックアップのシグナルの振幅を表示します。その振幅は $200 \pm 10\%$ でなければなりません。右側には、外側のピックアップの振幅が出ます、 $130 \pm 10\%$ でなければなりません。
STOPを押して、この機能を終わらせます、そして、キーボードのボタンを押してください。

第23章

エンコーダーディスクチェック (位置決め板)



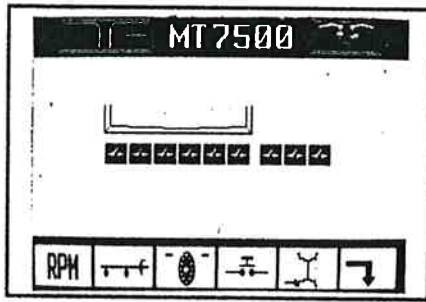
54

- 1) サービスモードのページを呼び出します。(第19章)
- 2) P3を押す。(図55)
シャフトを手で回転させCAL穴を12時の位置に持ってきて0であることを確認します。
- 3) シャフトを一回転させ、数字が225までジャンプとか中断する事なく続いていることを確かめて下さい。

キーの1つを押すと、この機能は解除します。

第24章

キーボードチェック

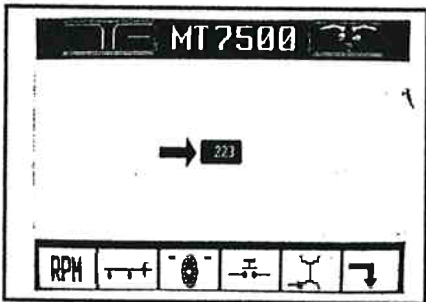


55

- 1) サービスモードのページを呼び出します。(第19章)
- 2) P4を押す。(図56)
- 3) キーが押されると、関連するキーが明示され、赤色になります。
2秒以上P6を押すと、この機能は解除されます。

第25章

デスタンスポテンシオメーターのチェックとキャリブレーション



56

- 1) サービスモードのページを呼び出します。(第19章)
- 2) P1を押す。デスタンスポテンシオメーターのキャリブレーション値がスクリーンに出ます。(図57)
この機能はサービス技術者に関するものです、ユーザーへのものではありません。

パネルのキーの1つを押すと、この機能は解除されます。

第26章

トラブルシューティング (トラブル発見方法)

自己診断プログラムが装備されています。
操作の問題が発生した場合、又手順上のエラーが起きた場合
機械はエラーコードのメッセージと行うべき操作の記述を
表示します。機械が発見出来るエラーの全てが下に記載されて
います。スクリーンの一番上に表示され、キーが押されるまで
残っています。

ERROR NO.	1	EEPROMU34	
ERROR NO.	2	ADC CONVU36	
ERROR NO.	3	ホイールスピード	
ERROR NO.	4	使用せず。	
ERROR NO.	5	RAM U1	
ERROR NO.	6	EEPROM U34	
		キャリブレーションデータ	
ERROR NO.	7	デイスタンス センサー	
ERROR NO.	8	使用せず。	
ERROR NO.	9	使用せず。	
ERROR NO.	10	キャリブレーションウエイト	??
ERROR NO.	11	キャリブレーションウエイト	??
ERROR NO.	12	外側ピックアップの読み取り	
ERROR NO.	13	エラーのオーバーフロー	

- 2) 有効な情報を機械が与えられない場合もあります。
その場合は、下記のことをやって見て下さい。

モーターが動かない場合、

- CN16のコネクターが正確に入っているか。
- モーターが単相で回っていないか。
- ホイールガードが完全に下ろされて入るか。
- ホイールガードのマイクロスイッチが押しているか。
- 上記の事が全て、正常であるなら、電話を下さい。

機械が止まらない場合、

- シャフトは、矢印の方向へ回っているか。もし、逆であるなら、サプライプラグの2本の線を反対にして下さい。
- 故障が直らない場合は、電話を下さい。

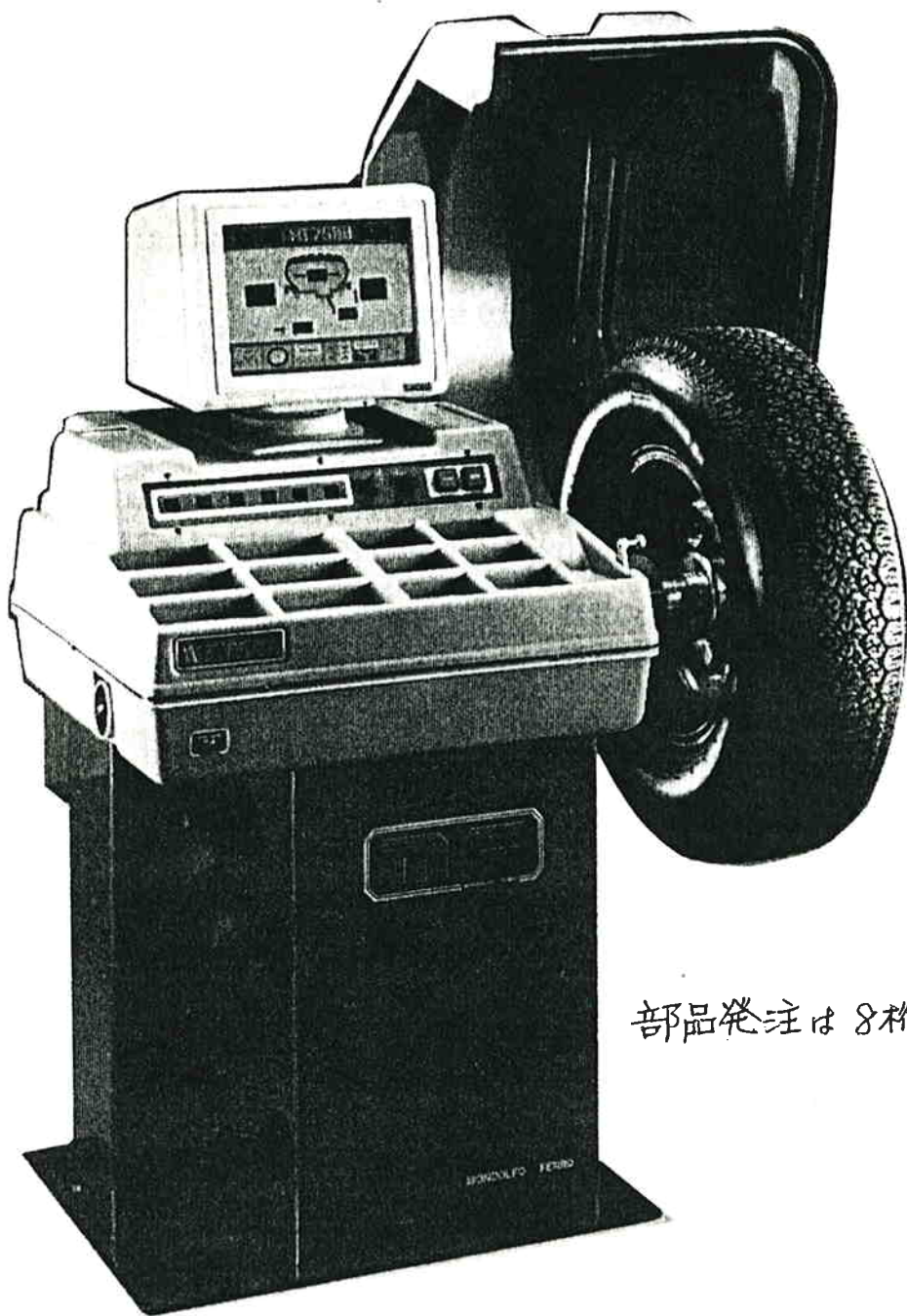
機械をonにした時、警報音が連続して鳴る場合、

- cn8, cn9, cn10のコネクターが正確に入っているか。
- 上記コネクターの線をたどり、先端がポテンショメーターに半田付けされているか。
- 上記の事が全て、正常であるなら、電話を下さい。

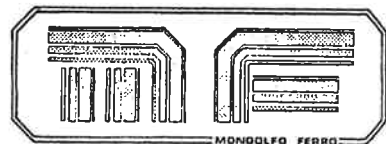


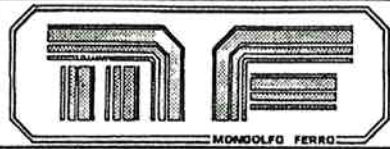
第27章 構成部品図

MT 7500



部品発注は 8桁番号で御指定下さい。

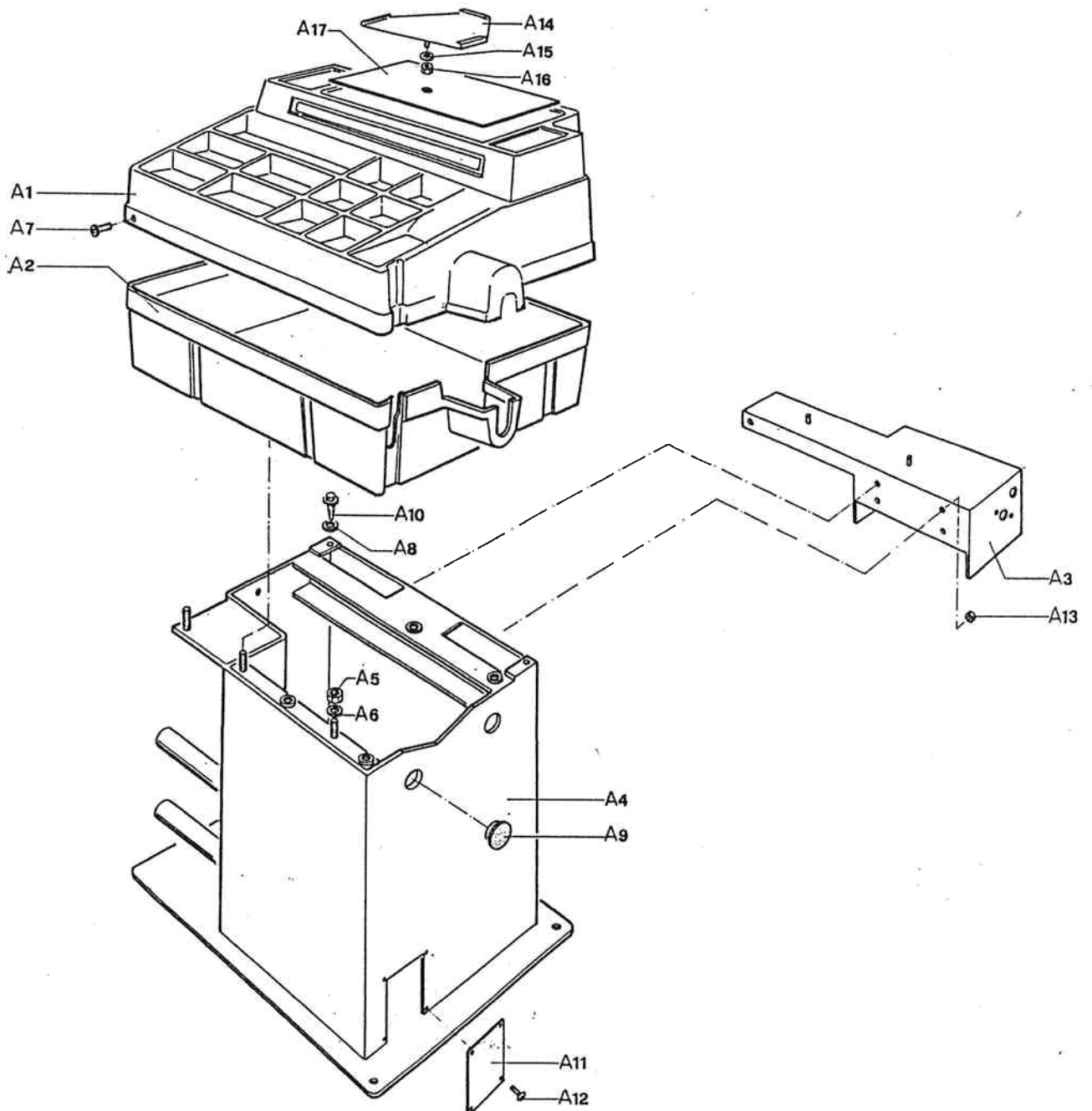


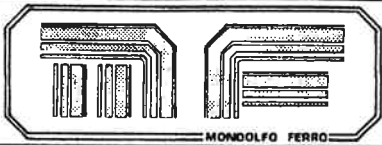


架 台 (本体)

MT 7500
TAV. 1

重要： 部品の発注は、右上のTAV番号とA番号に依り
構成部品表の8桁番号を書いて下さい。





CARTER COPRIRUOTA
WHEEL-COVER CASING
CARTER COUVRE-ROUE
RADSCHUTZBOGEN
CARTER PROTECTOR

MT 7500
TAV. 2

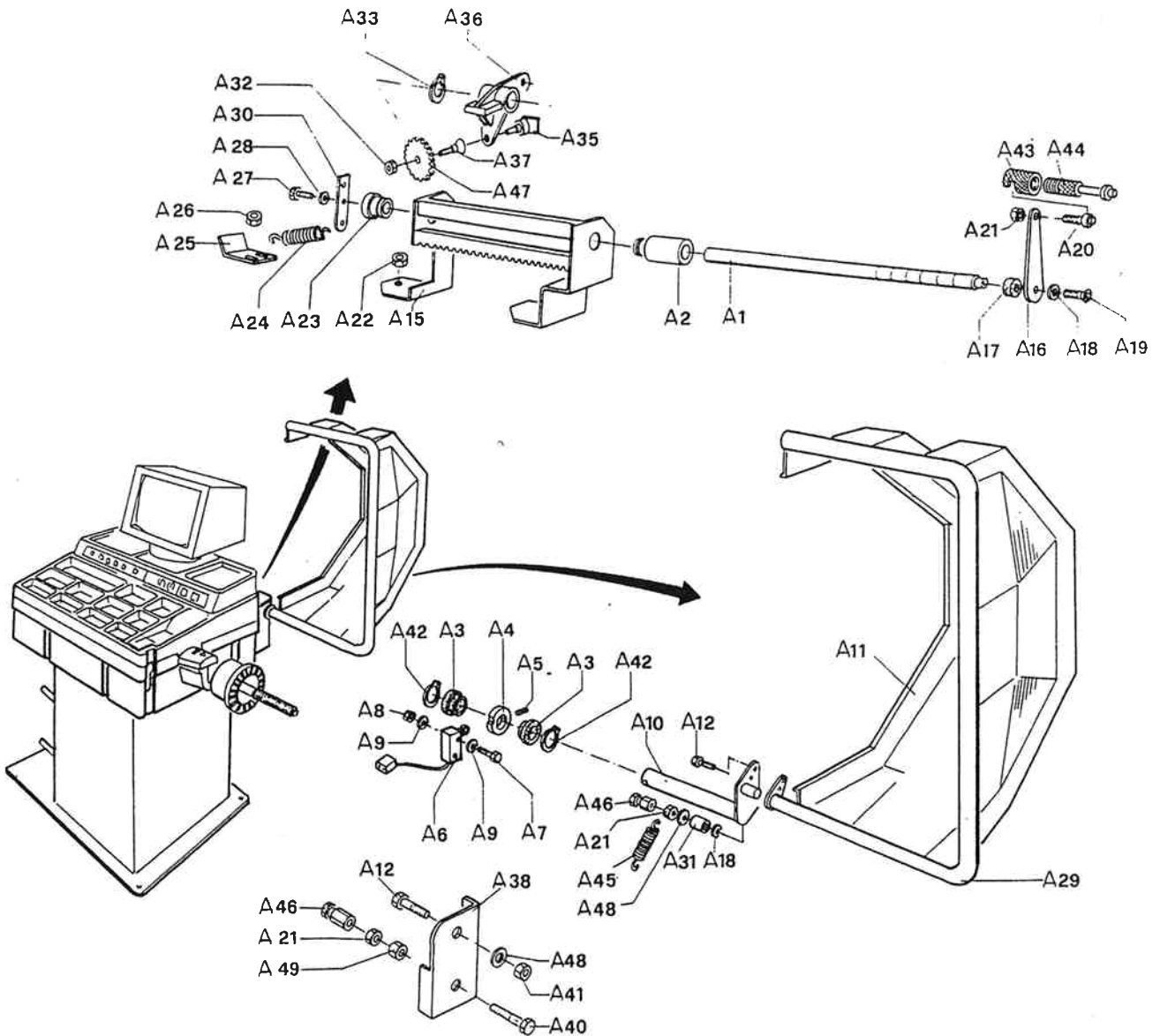
IMPORTANTE: per la richiesta dei ricambi far riferimento al codice ricambi (vedi pag.51).

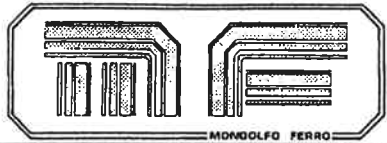
IMPORTANT: for the request of spare parts please refer to spare parts code (see page 51).

IMPORTANT: pour la demande de pièces de rechange faire référence au code des pièces de rechange (voir pages 51).

WICHTIG: für die Anforderung von Ersatzteilen die Ersatzteilcodes (siehe Seite 51) angeben.

IMPORTANTE: para pedir los repuestos remitirse al código repuestos (ver pag. 51).



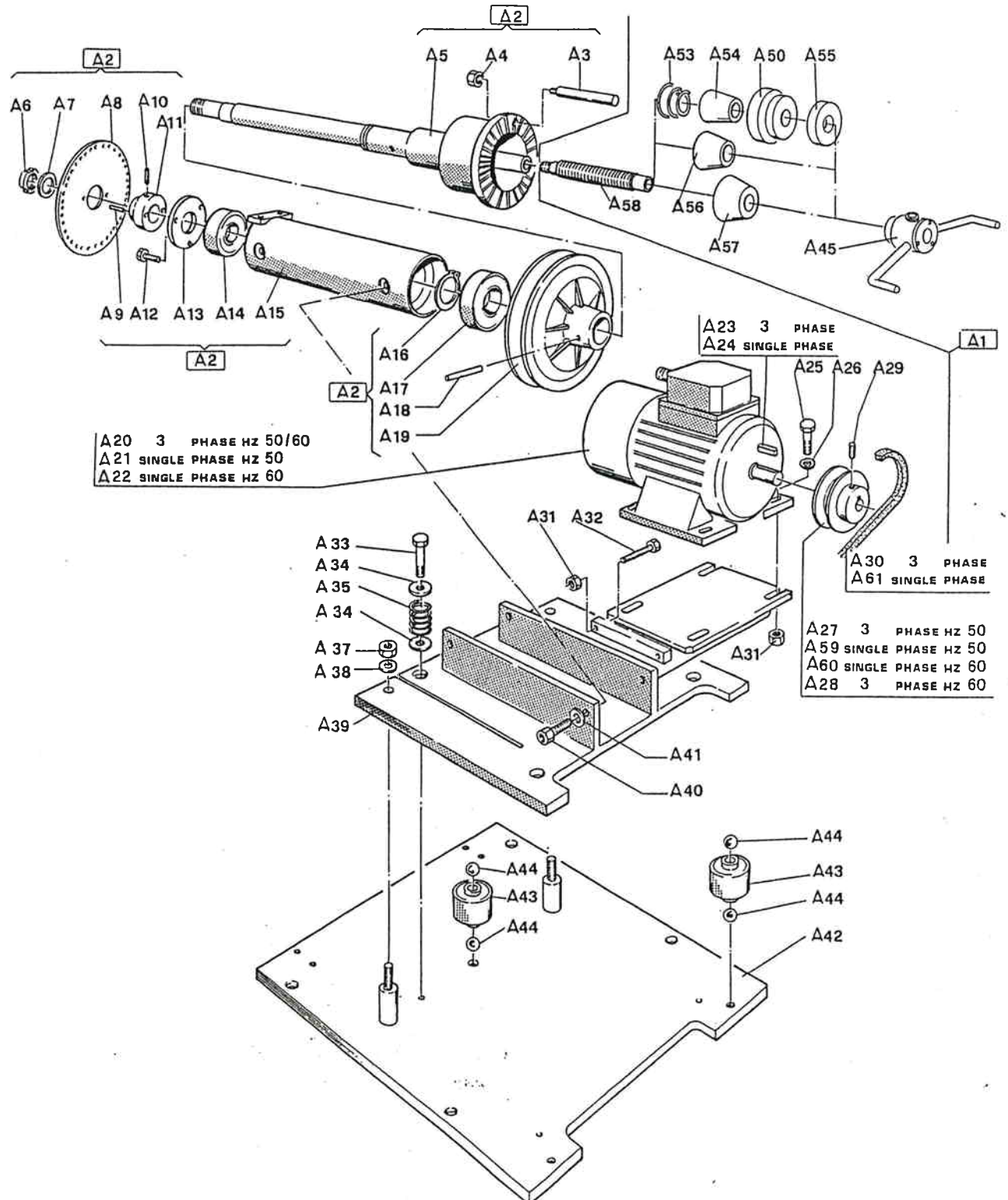


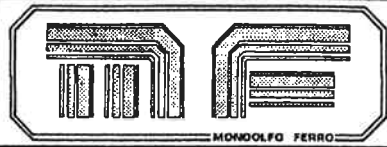
スピンドル、ベース、モーター
関連部品

MT 7500

TAV. 3

重要： 部品の発注は、右上のTAV番号とA番号に依り
構成部品表の8桁番号を書いて下さい。



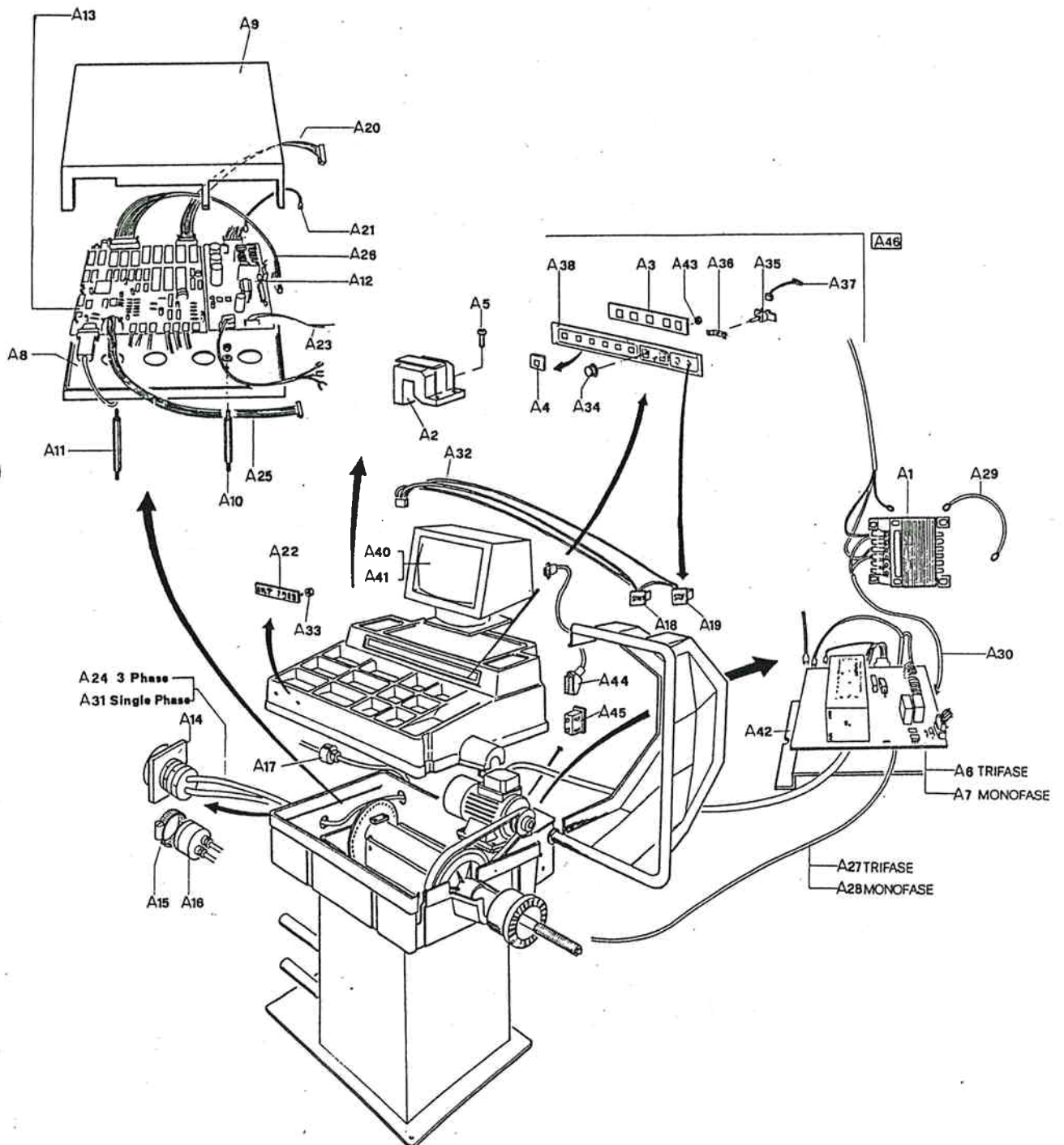


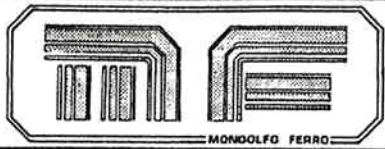
電気部品関係

MT 7500

TAV. 4

重要： 部品の発注は、右上のTAV番号とA番号に依り
構成部品表の8桁番号を書いて下さい。

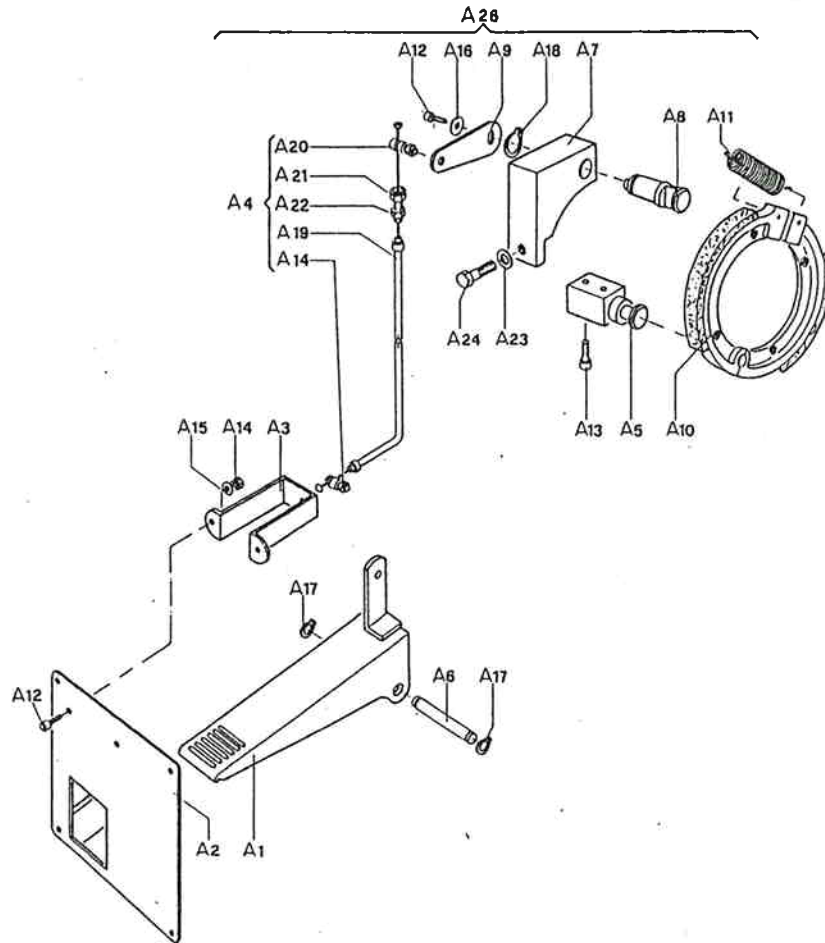


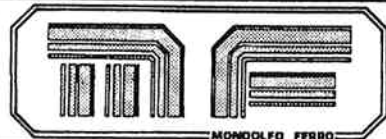


オプション部品(ブレーキ)

MT 7500
TAV. 5

重要： 部品の発注は、右上のTAV番号とA番号に依り
構成部品表の8桁番号を書いて下さい。

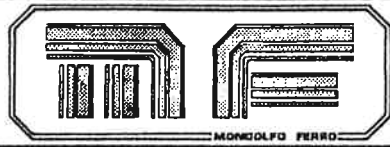




CAP. 28 TABELLA RICAMBI
CHAP. 28 SPARE PARTS CODE
CHAP. 28 TABLE PIECES DE RECHANGE
KAP. 28 ERSATZTEILLISTE
CAP. 28 TABLA REPUESTOS

MT 7500

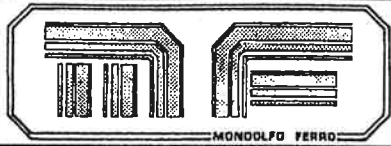
Posizione Position Position Position Posicion	Codice ricambio Spare parts code Code rechanger Ersatzteilcode Codigo repuesto	Descrizione Description Description Beschreibung Descripción	Posizione Position Position Position Posicion	Codice ricambio Spare parts code Code rechanger Ersatzteilcode Codigo repuesto	Descrizione Description Description Beschreibung Descripción
TAV. 1					
A-1	35014352	PIANO PORTAPESI	A-38	36017984	STAFFA ATTACCO MOLLE
A-2	35014353	FONDO PIANO PORTAPESI	A-39	80038022	VITE TE M6x10 UNI 5739 88
A-3	36014491	SUPPORTO CARTER COPRIRUOTA	A-40	80038040	VITE TE M8x40
A-4	36016092	BASAMENTO MT 7500	A-41	80445008	DADO AUT. M8
A-5	80445012	DADO A M12 PG UNI 7473 5S	A-42	81300030	SEEGER EST. D30
A-6	81010012	RONDELLA PIANA M12 UNI 6592	A-43	33013682	GHIERA FRESATA TASTATORE MOTO
A-7	80224010	VITE TESTA CROCE M4x12 UNI 7587	A-44	33013683	ASTA PROLUNGA TASTATORE MOTO
A-8	81000624	RONDELLA PIANA FL M6x24 UNI 6593	A-45	33017120	MOLLA
A-9	87291000	TAPPO A SCATTO D.P. 1000	A-46	33017983	COLONNETTA FILETTATA
A-10	80134046	VITE AUTOFIL.-ROND. 6,3x16 UNI 6590	A-47	35014606	RUOTA DENTATA POT. DISTANZA
A-11	36013535	COPRIASOLA BASAM. MT 3000-6000-8000	A-48	81010008	RONDELLA D8
A-12	80224021	VITE TESTA CROCE M5x8	A-49	80416008	DADO M8
A-13	80416008	DADO M8	A-50		
A-14	36014526	STAFFA RITEGNO MONITOR	A-51		
A-15	81001040	RONDELLA FL 10x40	A-52		
A-16	80445010	DADO AUT. M10	A-53		
A-17	35014495	AMMORTIZZATORE PIANO MT 7500	A-54		
TAV. 2			TAV. 3		
A-1	33015169	CREMAGLIERA COM. POST. DIST.	A-1	31120036	GRUPPO MECCANICA
A-2	35015166	BOCCOLA RILEV. DIST. DIAM.	A-2	32016040	GRUPPO MANDRINO
A-3	35009020	BOCCOLA NYLON EQUIL.	A-3	33010359	PESO CAMPIONE
A-4	33011995	CAMMA AZION. MICROINTER. EQUIL.	A-4	80416012	DADO A M12 PG UNI 5587
A-5	80182029	GRANO M6x20 UNI 5927	A-5	36012390	MANDRINO
A-6	32013501	GRUPPO MICROINTERRUTTORE	A-6	80375025	GHIERA AUT. M25x1,5
A-7	80038012	VITE TE M4x30 UNI 5739	A-7	81002644	RONDELLA PIANA 26x44x4 UNI 6593
A-8	80416004	DADO A M4 PG UNI 5587	A-8	36012531	DISCO ENCODER
A-9	81010004	ROND. PIANA M4 UNI 6592	A-9	81450308	SPINA ELASTICA D3x8 UNI 6873
A-10	36014486	PROLUNGA TUBOLARE CARTER RUOTA	A-10	80172028	GRANO M6x12 UNI 5925
A-11	35012586	CARTER COPRIRUOTA	A-11	33012530	SUPP. DISCO ENCODER
A-12	80038036	VITE TE M8x20	A-12	80038016	VITE TE M5x12
A-13	33012142	MOLLA CARTER	A-13	33013645	ANELLO BLOCCAGGIO CUSCINETTO
A-14	80455008	DADO AUT. B M8 PG UNI 7474	A-14	88062064	CUSCINETTO RAD. ST 306216
A-15	36015161	SUPPORTO CREMAGLIERA DIST.	A-15	36015850	SUPP. ALBERO MANDRINO
A-16	36012316	BIELLA TASTATORE	A-16	81300040	SEEGER EST. D40 UNI 7435
A-17	35009943	RONDELLA DI GOMMA	A-17	88060084	CUSCINETTO RAD. ST. 406815
A-18	81010010	RONDELLA PIANA M10 UNI 6592	A-18	81450860	SPINA ELASTICA D8x60 UNI 6873
A-19	80050041	VITE TPSCE M6x16 UNI 5933	A-19	33010201	PULEGGIA MANDRINO
A-20	33012442	TASTATORE	A-20	83866307	MOT. EL. TRIF. P6B3 380/50 0,75 DESATURATO
A-21	80436008	DADO B M8 PG UNI 5589	A-21	82843207	MOTORE ELETTRICO MONOF. 50Hz
A-22	80416012	DADO A M12 PG UNI 5587 6S	A-22	82843707	MOTORE ELETTRICO MONOF. 60Hz
A-23	35015167	BOCCOLA RIL. DIST. DIAM.	A-23	81500630	CHIAVETTA 6x6x30 UNI 6604
A-24	33013299	MOLLA A TRAZIONE	A-24	81500520	CHIAVETTA 5x5x20 UNI 6604
A-25	36013378	BASSETTA ATTACCO MOLLA	A-25	80038037	VITE TE M8x25 UNI 5739
A-26	80416006	DADO A M6 PG UNI 5587 6S	A-26	81010008	RONDELLA PIANA M8 UNI 6592
A-27	80038022	VITE TE M6x10 UNI 5739 88	A-27	33012576	PULEGGIA 50Hz
A-28	81010006	RONDELLA PIANA M6 UNI 6592	A-28	33012577	PULEGGIA 60Hz
A-29	36013405	TUBOLARE CARTER COPRIRUOTA	A-29	80182025	GRANO M6x8 UNI 5927
A-30	36015193	ATTACCO MOLLA CREM. DIST.	A-30	87160035	CINGHIA TRAP. A-35
A-31	35012465	FINECORSO CARTER RUOTA EQ. MT 8000	A-31	80416008	DADO A M8 UNI 5587
A-32	80416005	DADO A M5 PG UNI 5587 6S	A-32	80038041	VITE TE M8x50 UNI 5739
A-33	81300022	SEEGER EST. D22 UNI 7435	A-33	80018010	VITE TE M8x70 UNI 5737
A-34	80114012	VITE AUTOFIL. 3,5x13 DIN 7981	A-34	81000824	RONDELLA PIANA FL. M8x24 UNI 6593
A-35	32014546	POTENZIOMETRO RIL. DISTANZA	A-35	33012235	MOLLA SOSPENSIONE PIASTRA
A-36	35015168	SUPPORTO POTENZIOMETRI	A-36		
A-37	33014602	CONO SERRAGGIO POTENZIOMETRO	A-37	80445012	DADO AUT. A M12 PG UNI 7473



第28章 構成部品表

MT 7500

配置 ↓ コト番号 名称	配置 ↓ コト番号 名称
<p>A-45 19130202 GHIERA RAPIDA</p> <p>A-46</p> <p>A-47</p> <p>A-48</p> <p>A-49</p> <p>A-50 19130403 CONTROFLANGIA</p> <p>A-51</p> <p>A-52</p> <p>A-53 19130300 MOLLA CONICA</p> <p>A-54 19130101 CONO T-1</p> <p>A-55 19130501 RONDELLA NYLON</p> <p>A-56 19130102 CONO T-2</p> <p>A-57 19130103 CONO T-3</p> <p>A-58 19130601 PROLUNGA ALBERO MANDRINO</p> <p>A-59 33012849 PULEGGIA 50Hz</p> <p>A-60 33012850 PULEGGIA 60Hz</p> <p>A-61 87160034 CINGHIA TRAP. A-34</p>	<p>A-33 80416004 DADO A M4</p> <p>A-34 32014496 MANOPOLA CAPPuccio ROSSO</p> <p>A-35 32014500 POTENZIOMETRO LARG. E DIAM. MT 7500</p> <p>A-36 36014470 SUPPORTO POTENZIOMETRI</p> <p>A-37 31220023 CAVO COLLEGAMENTO POTENZIOMETRO</p> <p>A-38 32014687 TARGA SERIGR. CON PANNELLO COMANDI</p> <p>A-39</p> <p>A-40 89031490 MONITOR 14" B.N. COMPLETO</p> <p>A-41 89036420 MONITOR 14" COLORI COMPLETO</p> <p>A-42 36014435 SUPPORTO TRASFORMATORE</p> <p>A-43 80416004 DADO A M4</p> <p>A-44 32014545 CAVO VIDEO MT 7500</p> <p>A-45 84950027 PRESA AD INCASSO A-AC 325</p> <p>A-46 31120035 PANNELLO COMANDI COMPLETO</p>
<p style="text-align: center;">TAV. 4</p> <p>A-1 84100018 TRASFORMATORE</p> <p>A-2 31320009 SCHEDA OPTO</p> <p>A-3 32013488 SCHEDA TASTIERA (SENZA INTERRUTTORI)</p> <p>A-4 32013283 INTERRUTTORE A PULSANTE</p> <p>A-5 80074010 VITE TESTA CROCE M4x12 UNI 7687</p> <p>A-6 32013487 SCHEDA TELERUTTORI TRIFASE</p> <p>A-7 32013762 SCHEDA TELERUTTORI MONOFASE</p> <p>A-8 36013325 FONDO SCATOLA C.S.</p> <p>A-9 36013336 COPERCHIO SCATOLA C.S.</p> <p>A-10 36013364 COLONNINA CORTA</p> <p>A-11 36013365 COLONNINA LUNGA</p> <p>A-12 32014558 SCHEDA ASW</p> <p>A-13 32014559 SCHEDA CPU</p> <p>A-14 84700001 INTERRUT. GEN. BREMAS A1602 16A</p> <p>A-15 81905470 FASCETTA MIKALOR</p> <p>A-16 84990055 PROTEZIONE RIGIDA</p> <p>A-17 84990002 PASSACAVO SR 7L2</p> <p>A-18 32013280 PULSANTE START</p> <p>A-19 32013281 PULSANTE STOP</p> <p>A-20 32014499 CAVO TASTIERA MT 7500</p> <p>A-21 32013517 CAVO TERRA</p> <p>A-22 32016298 TARGA NOME + PIASTRINO</p> <p>A-23 32013483 CAVO MASCON</p> <p>A-24 84905415 CAVO ALIMENTAZIONE 3 PHASE</p> <p>A-25 32013478 CAVO OPTO</p> <p>A-26 32013484 CAVO CPU</p> <p>A-27 32013479 CAVO RETE TRIFASE</p> <p>A-28 32013834 CAVO RETE MONOFASE</p> <p>A-29 32013832 CAVO TERRA TRASFORMATORE</p> <p>A-30 32013482 CAVO PRIMARIO TRASFORMATORE</p> <p>A-31 84905315 CAVO ALIMENTAZIONE SINGLE PHASE</p> <p>A-32 32014501 CAVO START/STOP</p>	<p style="text-align: center;">TAV. 5</p> <p>A-1 36013512 PEDALE</p> <p>A-2 36013524 SUPPORTO PEDALE MT 3000-6000-8000</p> <p>A-3 36013516 FERMACAVO</p> <p>A-4 32013532 CAVO FLESSIBILE COMPLETO</p> <p>A-5 33013530 PERNO GANASCIE</p> <p>A-6 33013531 PERNO PEDALE</p> <p>A-7 33013529 SUPPORTO CAMMA</p> <p>A-8 33013515 CAMMA FRENO</p> <p>A-9 36013511 LEVA CAMMA</p> <p>A-10 32013508 GANASCIA FRENO</p> <p>A-11 33013540 MOLLA</p> <p>A-12 80108034 VITE TCCE M6x16</p> <p>A-13 80108038 VITE TCCE M6x30</p> <p>A-14 80445006 DADO AUT. M6</p> <p>A-15 81010006 RONDELLA D6</p> <p>A-16 81000624 RONDELLA D6x24</p> <p>A-17 81300012 SEEGER D12</p> <p>A-18 81300020 SEEGER D20</p> <p>A-19 35013533 CAVO FLESSIBILE</p> <p>A-20 33013534 BARILOTTO FRESATO</p> <p>A-21 33013819 REGISTRO M12</p> <p>A-22 80436012 DADO B M12</p> <p>A-23 81010010 RONDELLA D10</p> <p>A-24 80038054 VITE TE M10x40</p> <p>A-25</p> <p>A-26 19130710 GRUPPO FRENO MECCANICO EQ. MT.</p> <p>A-27</p>

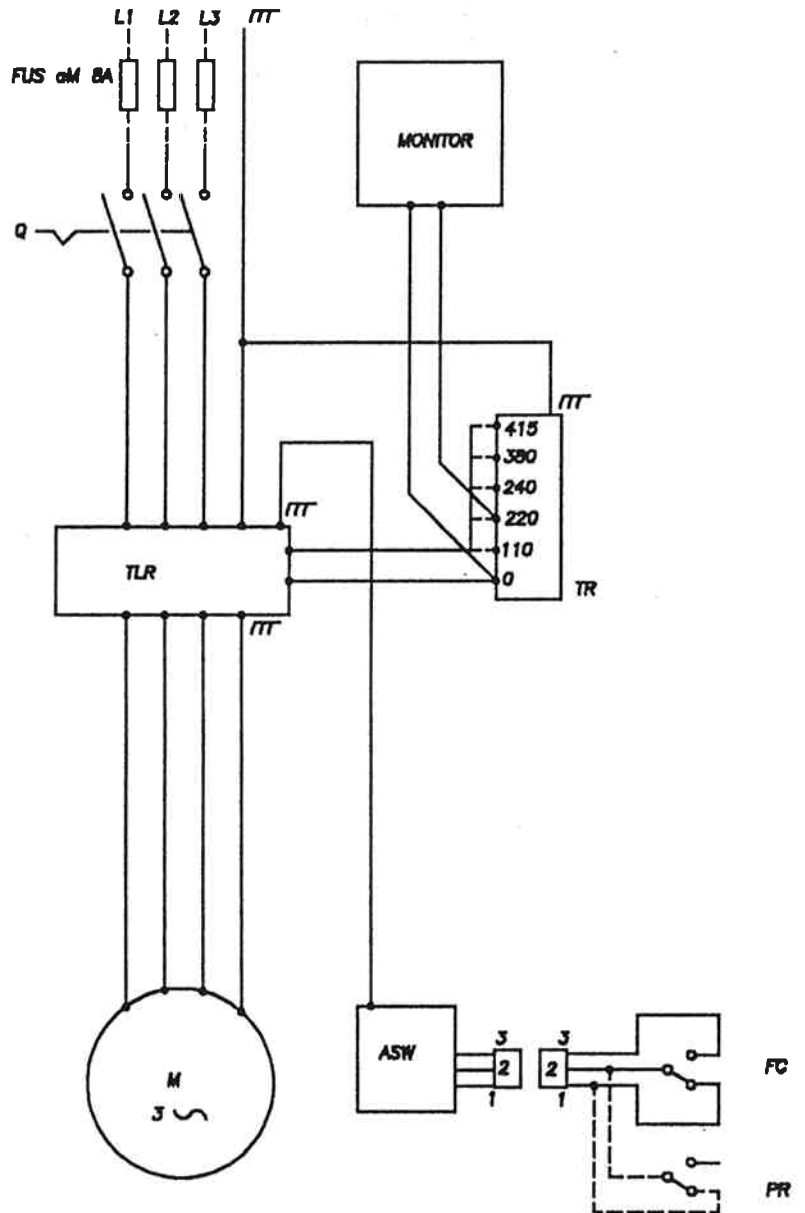


第29章 3相電源結線図

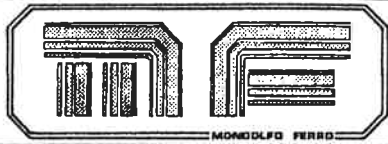
MT 7500

L1 / L2 / L3	電源
M	モーター
Q	メインスイッチ
TR	トランスフォーマー
FC	リミットスイッチ
PR	圧カスイッチ
TLR	スイッチカード (コンタクト)
ASW	供給カード (バネスイッチ)

L1 / L2 / L3	LINE
M	MOTOR
Q	GENERAL SWITCH
TR	TRANSFORMER
FC	LIMIT SWITCH CASING (OPEN CASING)
PR	PRESSURE SWITCH (OPEN UNDER PRESSURE)
TLR	SWITCH CARD
ASW	FEED CARD



13989

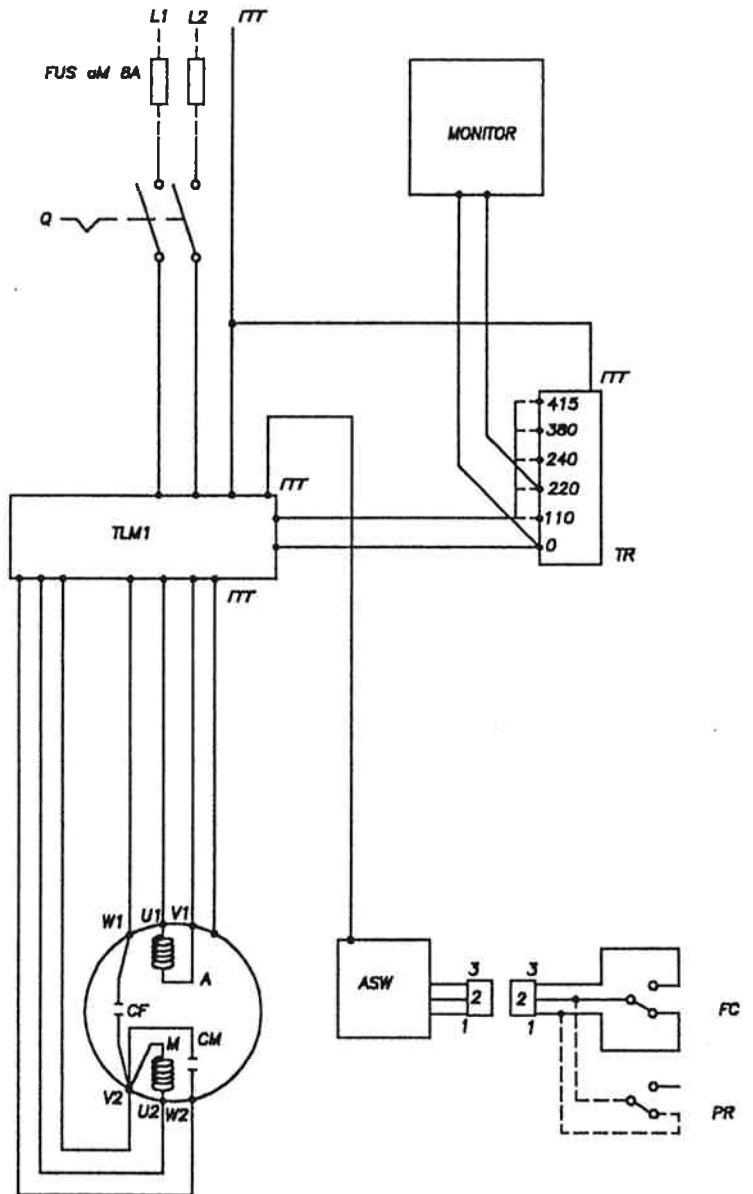


第30章 単相電源結線図

MT 7500

L1/L2	電源
M	モーター
Q	メインスイッチ
TR	トランスフォーマー
FC	リミットスイッチ
PR	圧カスイッチ
TLM1	スイッチカード (コンタクターボード)
ASW	供給カード (パワーサプライボード)

L1/L2	LINE
M	MOTOR
Q	GENERAL SWITCH
TR	TRANSFORMER
FC	LIMIT SWITCH CASING (OPEN CASING)
PR	PRESSURE SWITCH (OPEN UNDER PRESSURE)
TLM1	SWITH CARD
ASW	FEED CARD



13990



設置後、使用中にも参照にすることができるように、このマニュアルは大切に保管して下さい。
又、この機械を御使用になる前にこのマニュアルを丁寧に読み、完全に理解してから御使用下さい。

⚠ 警告

- ・危険 (DANGER) : 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合
- ・警告 (WARNING) : 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
- ・注意 (CAUTION) : 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合



電気に関する変更は、どんな小さな変更でも免許を持った資格ある人が行って下さい。